

名古屋学院大学 留学生別科 Q & A

出願に関して

Q 1 卒業証明書は原本が必要ですか？

A 1 出願時はコピーでかまいません（ただし中国の方は公証書を添付してください）。
合格通知が届いた時点で、かならず原本を送ってください。

Q 2 推薦書は2名分提出しないといけませんか？

A 2 かならず2名分が必要です。

Q 3 推薦書を書いてもらう日本語の先生がいないのですが。

A 3 かならず日本語の先生のものでないといけませんので、書いてもらえない場合は残念ながら本学に出願することはできません。

Q 4 財政能力証明の表し方はどうしたらよいですか？

A 4 募集要項を読んでいただければわかりませんが、
親が支弁する場合は、FORM 6 を
日本に在住する支弁者の場合は FORM 7 を使って、提出してください。

Q 5 出願料は出願書類と一緒に送ってよいですか？

A 5 出願書類と一緒に「郵便為替」で送ってください。なお、小切手では受け付けませんので、注意してください。または募集要項に書いてある銀行口座に振込みをお願いします。

合格後にかんして

Q 1 「在留資格認定証明書」は自分で申請しないといけませんか？

A 2 本学で申請は行います。ただし、認定までに時間がかかりますので、証明書の送付が遅れることを前もって理解してください。

Q 2 在留資格認定証明が不許可された場合、すでに納入した入学手続金はどうなりますか？

A 2 本学より指定された銀行口座に、振り込み手数料を除いた金額を返金します。

生活に関して

Q 1 寮に住むことはできますか？

A 1 学内に「国際セミナーハウス」があり、希望者は入居できます。1室に6畳と4.5畳があり、家賃は光熱費込みで6畳は月35,000円、4.5畳は月30,000円となります。本学の日本人学生もレジデンス・アシスタント（RA）として入居していますので、困ったことがあれば皆さんのお手伝いをします。但し、部屋数は限られますので、入居できない場合もあります。

Q 2 学外に住むこともできますか？

A 2 学外に大学協定の寮が男女別にあります。大学の補助があり、朝食・夕食つき、光熱費は別途で月40,000円となります。こちらも部屋数が限られていますので、早めに申込をしてください。

また、自分でアパートを見つけて大学近くに住むこともできますが、入居時に敷金・礼金を20万円ほど払う必要があり、また部屋の電気・家具類は全て自分で用意しなくてはなりません。家賃も月5万以上はかかります。

Q 3 初めて外国に住むので不安ですが。

A 3 だいじょうぶです。本学の日本人学生がみなさんのアシスタントとしてお世話をします。中部国際空港への出迎え、セミナーハウスへのチェックイン、外国人登録、国民健康保険加入、携帯電話加入、銀行口座開設、日常生活品の買出しなどのお手伝いをしてもらえます。困ったことがあれば、何でも相談してください。

Q 4 月々の生活費はどのくらい必要ですか？

A 4 個人によって異なりますが、住居費を除いて最低5万円は必要ですので、滞在に必要なお金の計画をたててください。

Q 5 アルバイトはできますか？

A 5 中部国際空港の入国窓口または名古屋入国管理局へ申請を行い、許可が得られれば1週間に28時間まで働くことはできますが、本学留学生別科の授業では宿題が多くありますので、アルバイトができる時間はほとんどないと考えてください。

Q 6 病気をしたときの保険はありますか？

A 6 本学別科生は入学時にかかわらず「国民健康保険」に加入してもらいます。加入者の各種医療費の7割を保険で負担してもらえるので、個人の支払額は3割となります。保険料は月2千円ほどとなる予定です。

さらに、日本学生支援機構が外国人留学生に対して、日本国内において健康保険を

取り扱う医療機関で病気または負傷のために治療を受け、医療費を支払った場合、35%の医療費を補助する制度もあります。

Q 7 地元の人達とふれあう機会はありますか？

A 7 小学校を訪問したり市民の交流イベントに参加したり、さまざまな機会があります。

Q 8 フィールドトリップはありますか？

A 8 毎年10月と5月に1泊2日を実施します。昨年度は「富士山麓」と「琵琶湖」へ行きました。全員参加です。(費用は大学が負担します)

授業にかんして

Q 1 留学生別科のクラス分けはどう行いますか？

A 1 各学期はじめに日本語能力試験を行います。その結果によりI～Vまでの5段階クラスのどれかに振り分けられます。

Q 2 大学の学部の授業を受けることができますか？

A 2 レベルIVとVの学生は、通常の日本語クラスとは別に学部の授業も受講することができます、単位も取得できます。

Q 3 授業時間は毎日どれくらいですか？

A 3 このサイトの授業時間割をみてください。午前中はだいたい授業があります。午後は選択する科目によって1～2コマ授業を受けます。

Q 4 奨学金制度はありますか？

A 4 文部科学省からの奨励金があります。また本別科独自の奨学金制度もあり、毎年5月と10月に掲示板で募集を行います。

Q 5 企業でのインターン体験はできますか？

A 5 希望者には2月に2週間、地元企業や教育機関の協力を得て日本企業での体験をすることができます。修了後「インターンシップ」として2単位が認められます。

Q 6 授業以外の相談はできますか？

A 6 毎週決まった時間に授業についての相談ができる機会を設けていますので、気軽に相談してください。

修了後に関して

Q 1 日本の大学に進学をしたいのですが

A 1 各大学で実施する入学試験を受けなくては行けません。日本留学試験の受験が求められるところが多くありますので、注意してください。進学希望の方は、本学別科入学時にかならず、日本語教員に相談をしてください。それぞれの希望にあわせて、指導をします。

Q 2 名古屋学院大学に進学をしたいのですが

A 2 本学留学生別科を修了した人を対象に、特別試験制度があります。しかし、修了したらかならず試験に合格できる約束はしておりません。在学期間中にしっかりと日本語の勉強をして、日本語能力試験や日本留学試験での結果をきちんと残さなくてはいけません。

合格できるかどうかは本人の努力次第です。

以 上